

# つばめガス 営業車にEV導入 自然エネ活用、脱炭素貢献

プロパンガス販売などの  
つばめガス(岡山市南区福田)は、営業車への電気自動車(EV)の導入を進める。グループで手がける太陽光や小水力発電など自然エネルギーで充電し、災害時やイベントの電源としての活用も計画。徐々に台数を増やし、カーボンニュートラル(CN)、温室効果ガス排出実質ゼロ)の実現に

寄与する。  
11月下旬に1台を導入した。三菱自動車水島製作所(倉敷市水島海岸通)で製造された軽タイプの「eKクロスEV」で、車体をコーポレートカラーの黄と赤に塗装。側面にはマスコットキャラクターや太陽のイラストをあしらっている。車両は倉敷支社(同市中島)で試験運用中で、年明けからは走行エリアを全県

に拡大する。本社に太陽光パネルで発電した電気をためる蓄電池や充電設備を設置したほか、グループ会社のエリス(岡山市南区福田)が津山市などと共同で設けた小水力発電設備も充電拠点として利用する。

2024年度中にEV5台を新たに購入する予定で、その後も運用状況などを見ながら増やしていく。赤木忠専務は「エネルギーを扱う会社だからこそ脱炭素に取り組むことは使命。グループ資源を生かしながら進めていきたい」と話す。  
(岡村綾乃)



つばめガスが導入したEV